

議会です こんにちは

もくじ

- P 12 ・「市民と議会の意見交換会」のご案内
- P 13 ・各常任委員会からの報告
- P 14～17 ・第3回定例会一般質問項目
- P 18 ・こんなことが決まりました
・決算審査特別委員会からの報告
- P 19 ・各組織議会からの報告ほか

市議会議員 16人が2班に分かれ、下記の日程で市民の皆さんと「市民と議会の意見交換会」を開きます。

当日は、意見交換会のほか、議会全体・各常任委員会からの報告もしますので、多くの市民の皆さんの参加を心よりお待ちしております。

あなたの声をお聴かせください

「市民と議会の意見交換会」のご案内

11月11日(水)・12日(木)・13日(金) 18:30～20:00

テーマ

- 船場公園の今後について
- 公共施設等の利活用について
(廃校舎・公共施設・ぶるもなど)

参加申込は
不要です!

開催日	時間	会場
11月11日(水)	18:30 ～20:00	東部コミュニティセンター
		港西コミュニティセンター
11月12日(木)		港東コミュニティセンター
		幌糠コミュニティセンター
11月13日(金)		港北コミュニティセンター
		港南コミュニティセンター



※各開催会場では、託児室を用意しています。託児をご希望の方は、各開催日の前日までに議会事務局 ☎42-1907までご連絡ください。(土日、祝日除く)

第一常任委員会 からの報告

8月20日開催の第一常任委員会における主な内容を報告します。

【船場公園】指定管理者制度導入について

船場公園は、市街地におけるイベント広場の確保、留萌管内の交流拠点、新たな観光ゾーンの創出のため、平成9年5月に都市計画決定および事業認可を受けました。主要幹線道路の国道231号に隣接し、留萌港や留萌駅にも近く「パークゴルフ場」「ドッグラン」および「多目的芝生広場」を整備し、公園のメイン施設となる「管理棟」が完成しました。船場公園は水と緑の潤いと人の流れを中心市街地に誘導する「ふれあい交流地区」の中心施設であり、情報発信の場として整備が行

われ、管理棟の1階にイベントホール、体験学習室、24時間開放トイレ、2階には展望休憩室、屋上テラスを設け、市民や観光客が憩い集うコミュニティパークとして期待されています。平成28年5月の船場公園オープンにあわせて指定管理者制度を導入することになりました。

公園施設の管理やトイレなどの維持管理、施設利用の受付・案内、産直朝市や市民参加型ハーブ園の運営、情報の発信などの役割が期待されます。



▲船場公園管理棟

第二常任委員会 からの報告

8月6日開催の第二常任委員会における主な内容を報告します。

【市立病院】在宅医療支援室の閉鎖について

<経過と現状>平成19年10月に慢性期医療機関への待機者を受け入れるため療養病棟を開設。その後、東雲診療所において在宅療養支援診療を行ってきました。しかし、医師の不在で設置要件の維持が困難になり、本年11月末をもって在宅医療支援室を閉鎖することになりました。

現在は29人の対象者がおり、6月22日から、本人や家族に説明を行い、訪問看護ステーションや担当介護支援専門員などと調整や情報交換を図りながら患者が継続してサービスを受けられるよ

う支援を行っています。市において、在宅診療の需要や供給体制がどのような状況にあり、何が課題となっているのか確認する必要があります。

委員からは、今は対象者が不安にならないように責任をもって対応策を講じていかなければならず、今後、関係機関と協議し、あり方を提示すべきではないかなどの意見が出されました。

7月6日に市立病院訪問診療継続のお願いについて、関係する一市民から嘆願書が届いており、第二常任委員会に審査を付託されています。



▲第二常任委員会

広報常任委員会 からの報告

広報常任委員会では、「市民にわかりやすく・開かれた議会」を目指し、議会としての情報公開と責任説明を柱として、各定例会後の議会広報誌の作成を中心とした「議会広報作業班」と、議会の様子を毎月お知らせする掲示板作成やホームページの更新を中心とした「お知らせ掲示板・HP作業班」に分かれ活動を実施しています。さらに、各々の作業の確認、および意見の交換、あるいは全委員の共同での討議の場として、1カ月に1度の常任委員会を開催しています。

議会広報作業班

市議会だより「議会です こんにちは」117号

の作成後、議会活性化推進特別委員会で決定された「各種会議への議員の出席状況の公開」をどのような形で掲載するかが議論されています。

お知らせ掲示板・HP作業班

毎月の掲示板作成のほかに、FMもえるでの議会放送について、もえるの協力によりアンケートを行うことで現状を把握し、放送内容の検証を行い、これからの方向性を常任委員会で協議しています。

また、ホームページでは、一般質問を音声で発信しています。



▲お知らせ掲示板

平成27年 第3回定例会 一般質問と答弁を ご紹介いたします

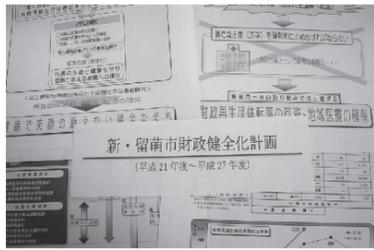
村上 均 議員
(留萌公明党)

【問】新・財政健全化計画達成について

私は平成15年9月定例会で財政について一度全ての見直しを提案した。その後21年に新・財政健全化計画を策定、7年間の取り組みでは地域医療を守り、財政再生団体への転落回避策など、市民の皆さんに理解と協力をいただき計画を推進した。計画の最終年度の今年も残り半年、計画達成の取り組み評価と終了後の財政運営の考えを聞きたい。

【答】税率引き上げ、人件費の見直しで26億5千万円の効果、財政調整基金や減債基金にも積立て、残高が合計で21億円以上ある。計画終了後も、再び財政が危機的な状況に陥ることがないよう5年程度の中期財政計画を28年度の予算編成方針を示すまでに策

定し、身の丈に合った継続可能な財政運営に努める。



▲最終年度を迎えている新・留萌市財政健全化計画

【問】温水プール「ふるも」について

「ふるも」は平成21年から休館しているが、昨年小学生の水泳授業と夏休み期間中の一般開放の一部再開を2年間にわたり実施した。そこから見える課題について聞きたい。

【答】一般開放時の利用者が前年より減少し、実態把握が難しい。稼働施設や開館日数が増えることによる費用の把握、人員増加や研修体制の確

至った経緯と、これからの留萌・深川間の存続に向けた対策についてどのような見解をお持ちなのかお聞きしたい。



▲JR北海道から一部廃止を提案されたJR留萌線

【答】10年間JRを利用して、乗客が少なく厳しい状況だと感じている。

議会と市民の意見を聞きながら共通の情報のもとで議論できるように情報収集に努める。

笠原 昌史 議員
(民主クラブ)

【問】マイナンバー制度について

平成27年10月に全戸に通知カードを配布、28年1月から利用が開始されるこの制度は、行政手続きなどの簡素化、効率化が期待される反面、個人情報流出などを不安視する市民も多い。庁内のセキュ



▲10年後を目途に建て替えが計画される文化センター等の3施設

リティ対策はどうなっているのか伺いたい。
【答】市の市民情報を広範囲に扱う各端末にウイルス対策を講じているほか、10月からは情報漏えい対策のために基幹システムからインターネット回線を分離する。

【問】留萌市文化センター等について

市民の文化活動、スポーツ活動の拠点といえる中央公民館や文化センター、スポーツセンターは建設から42年が経過し、老朽化が進んでいる。

これらの施設の建て替えを検討しているのか。また、建て替えの際は市民の意見を聞く検討組織の設置を考えているのか伺いたい。

立が必要になる関係団体との協議、利用者アンケートなどの意見をもらい、28年度以降の効果的な運営、利用料金の検討を進めている。

燕 昌克 議員
(萌政会)

【問】地方創生における交流人口拡大に向けた取組

地域経済の再生は、地域で稼ぐ安定的な雇用を創り、都会では実現しえない新しいライフワークや家族像を創造し提供することが自治体に求められている施策だと思ふ。交流人口拡大に向け、移住者を迎えるための支援環境づくりやふるさと納税についてどのように考えているのか伺いたい。



▲ふるさと納税で地域の魅力発信を

【答】新しい人の流れを作るには、若い世代が安定して働

【答】3つの施設については建て替えの時期と判断しており、10年後を目途に教育委員会や関連部局と協議・検討し、建て替え計画を策定していく。市民を含む検討組織は28年4月を目途に設置したい。

澤井 篤司 議員
(萌政会)

【問】人口ビジョンと地域産業構造分析からみる地方創生前回の質問で、将来の人口は国立社会保障・人口問題研究所の2040年の推計1万4千人よりも上回るもの回答だったが、具体的数字は出たのか。

国は2060年の推計8674万人に対し、1億人以上の目標を掲げた。この割合を留萌に当てはめ、2040年1万6千人を合理的目標とすること、市の基盤産業が水産加工業であることから、10年で60人の業界人口を増やすことが地域人口を増やす近道であると提案し、周辺2町との水産養殖業の連携が留萌経済圏として有効だと思ふが見解を伺いたい。

【答】人口ビジョンは、出生率の設定と特色ある施策を検

ける相応の賃金や、やりがいのある雇用を創らなければならない。市としてどのような人材を求めているのかを明確にして、支援策や地域の魅力の発信方法について検討したい。また、ふるさと納税に関する内容やホームページのリニューアルについても検討したい。

【問】監査について

今年度実施する財政援助団体などに対する監査はどのような項目を重点的に監査するのか。また、監査における指摘事項について改善の報告が行われ、確認作業などを行っているか伺いたい。

【答】今年度は監査計画に基づき、公の施設の指定管理者監査を予定している。項目は法令に基づき適正に管理されているか、収支会計経理等を監査している。一部支出が補助対象事業費として計上されていたなどの指摘事項については公表時に所管部局や団体に対して改善を促している。

鶴城 雪子 議員
(萌政会)

【問】公共交通の充実について

留萌経済圏の可能性は、市経済活性化懇談会の中で今後も研究を進めたい。

27.860	27.305	26.876	26.295	25.817	25.318	24.882	24.339	23.979	23.546
3,497	3,411	3,274	3,130	3,015	2,896	2,790	2,712	2,679	2,533
13,498	13,959	13,063	12,738	12,442	12,161	11,679	11,679	11,459	11,232
14,162	14,813	13,357	13,379	13,155	12,203	12,000	12,320	12,316	12,316
31.2%	32.0%	31.4%	31.8%	31.8%	32.0%	33.1%	32.0%	32.2%	32.3%
235	210	211	188	214	191	162	169	166	166
239	242	297	280	278	296	285	264	281	281
▲4	▲32	▲57	▲92	▲64	▲105	▲103	▲95	▲119	▲119
0.9%	7.7%	12.0%	15.4%	19.4%	21.5%	17.7%	21.7%	24.9%	24.9%
1,412	1,391	1,409	1,276	1,295	1,226	1,096	1,120	1,145	1,145
1,859	1,774	1,828	1,783	1,722	1,482	1,462	1,491	1,491	1,491
▲447	▲383	▲419	▲395	▲504	▲363	▲342	▲346	▲346	▲346
99.1%	12.3%	18.0%	16.9%	14.6%	14.0%	13.3%	13.1%	13.1%	13.1%
▲451	▲415	▲476	▲381	▲590	▲401	▲381	▲437	▲461	▲461
12,843	1,666	12,826	12,677	12,698	12,481	11,044	▲81	12,166	12,071
804	2,074	2,074	2,074	2,074	2,074	2,074	2,074	2,074	2,074
2.7%	2.2%	2.8%	2.3%	2.3%	1.7%	1.9%	1.9%	1.7%	1.9%

▲人口減少の歯止めには、基盤産業の強化と広域連携が有効

【問】地域内人口集中地区(DID)の移動リスクについて

10年前に16町内あったDIDは今は11町内、10年後は7町内以下と予想される。市の高齢者のピークは5年後で、国の推計より20年早く迎えるため、国の対策を待つのでは遅い。社会インフラの更新計画、都市計画マスタープラン(都市マス)の改訂などが急務と思ふがいかがか。

【答】平成15年策定の都市マスは社会情勢の大きな変化や新施設の追加時に見直したい。財源は自主財源と既存基金を活用したい。

市役所や文化センター、図書館などの公共施設の前にはバス停がなく、市民にとって不便な状況となっているため、公共施設前にバス停を設置してほしいという声や、市民アンケートからも多く聞かれています。

バス停やルートの問題は「留萌市地域公共交通活性化協議会」において協議をし、バス会社に要望することにより、バス停が新設されることは十分に可能であると捉えているが、市長の見解をお聞きしたい。

【答】留萌市地域公共交通活性化協議会で意見交換を重ね、地域にあった地域公共交通のあり方について検討していく。

【問】JR留萌線の今後

JR北海道から、留萌・増毛間の利用状況や採算性などに関して市に定期的に報告がなされていたとのことなので、何らかの対策を講じなければ、廃止もあり得るとの認識を持っていただと思う。しかし、この度の鉄道事業廃止の申し入れに対して市長は「やむを得ない」と判断しているが、そのような考えに

戸水美保子 議員
(留萌公明党)

【問】思いやりのある街づくりに

幅広い年代の人が利用する中央公民館や文化センターのトイレは、和式が多いが洋式に変えるつもりはないか伺いたい。和式トイレは子どもや膝が痛い人には使いにくい。昨年も全道規模の大会などが行われた時には、洋式トイレに長蛇の列ができ、「トイレだけは困った」という声が多く寄せられた。

「留萌おもいやり・おもてなし物語」には洋式トイレの整備が切実な課題だと考えられているか。

【答】中央公民館などは、おむね10年後を目処に建て替え計画を策定する。修繕は計画を立て年次的に実施する。

【問】浜中運動公園の陸上競技場の整備について

陸上競技場の一部に危険な箇所や修繕が必要な箇所がある。現状の認識と整備計画について伺いたい。

【答】冬期間の凍結などの影響を受けている部分は、5月に転圧などの必要な整備を

行った。平成15年に日本陸上競技連盟の4種公認陸上競技場になり、5年ごとに継続審査を受けている。

今回の30年の公認検定に向け、関係団体の協力も得て整備を進め、維持・管理していく。



▲危険箇所の修繕などが求められる浜中運動公園

野呂 照幸 議員 (民主クラブ)

問一 マイナンバー制度導入に向けた対応について

マイナンバーの個人番号通知の準備や啓発、広報活動の状況、個人情報管理など、どのような対策を講じているのか。基幹システムの接続の有無、ウイルス対策、個人カードの交付機能の付加なども含め現状や課題を伺いたい。

答一 10月から順次、市民に番号通知カードが送付され

る。全市民に確実に届けることができるかどうかが課題である。広報誌やホームページで周知してきたが、今後も積極的に広報活動を実施する。ウイルス対策は、特定個人情報保護を一番とし、基幹パソコンは分離する。個人番号カードの付加機能の導入は、市民ニーズや他自治体の状況を見て検討する。



▲個人番号カード(見本)

問二 高齢者等の生活の足の確保について

市の交通の現状や課題の分析、また、高齢者の生活の足の確保の重要性と留萌市地域公共交通総合連携計画の評価と課題をお聞きしたい。

答一 市内の公共交通空白地域の存在については、地域懇談会で問題解決に取り組みたい。高齢化が進む中、移動手段の確保は重要と考える。バ

スの日東団地線の運行、ノーマイカーデーの実施などで検討すべき課題や事業周知が必要であり、関係機関と連携して取り組みたい。

坂本 茂 議員 (無党派)

問一 地方創生について

真に地方を創生するには、その産業を生業とする人々や事業者による内発的力が要となる。

農業では、経営者の高齢化に対応する農作業受託組織の拡充。林業・林産業では、韓国・中国への間伐丸太輸出とともに、製材・チップ材として地元で木材の利活用促進。

また、漁業では、漁業者の所得増を図る計画を盛り込むことなどが必要と思うが見解を伺いたい。



▲韓国や中国に輸出されている間伐材

答二 市役所本庁舎は現在未策定であるが、長期計画とは別に平成32年度までに個別計画に盛り込み、必要な調査研究を進め「改築」や「全面改修」による延命化、統廃合を進めるなど検討が必要となる。

問二 留萌十字街西ビルの施設管理運営について

西ビル1階の交流プラザ広場の現状と課題、今後の利活用の展望や温水プール「ぶるも」の再開のあり方、年間経費や利用料金の試算および効果的な運営方法や管理体制の確立の必要性をお伺いする。

答三 交流プラザは、「ぶるも」の休止以降はほとんど利用されず、利活用の検討が必要である。「ぶるも」の通年運営には、業者の見積もりで7千万円の持ち出しが必要であると試算している。

現在休止中の施設や設備の補修などに4300万円程度が必要であり、教育委員会内で決定する方針を行財政改革推進本部で議論し、内容を総合的に判断した上で結論が出る。10月末日には最終案を作成し、協議案を決定する。

答一 現場の皆さん、事業者の皆さんの力なくして地方創生は成り立たない。

南るもい農業協同組合と協力、基盤整備と農作業受託組織を確立しなければならぬと考えている。林業部門は地方創生の重要な部分と考えている。漁業については、所得向上を念頭に行政として支援策を考えたい。

問二 国の医療政策と在宅医療について

国は「患者を病院から在宅へ」と管内の病床を3割弱削減する「地域医療構想」策定を急いでいる。留萌地域の在宅医療の現状と今後について伺いたい。

答二 市立病院の在宅医療は11月で終了。市が行う在宅介護連携推進事業を進めるなかで、医師会をはじめ関係機関と連携を図り、在宅医療・介護連携を推進したい。

川口 宏和 議員 (萌芽クラブ)

問一 公共施設の老朽化について

全国的に廃校となった学校をどのように活用するか有効活用に向けたさまざまな取り

組みが盛んに行われている。旧沖見小学校についての考えを伺いたい。



▲利活用が求められている旧沖見小学校校舎

答一 旧沖見小学校校舎は、市街地にありバス路線に面していることから利活用については最重要課題と捉えている。

問二 地方創生の推進について

昨年度より行っているスポーツ合宿可能性研究事業と、一般社団法人留萌青年会議所が行っている音楽合宿事業が2年目を終えて、今後の市が行う合宿事業に対する取り組みについて聞きたい。

答二 来訪したチームが開催するスポーツ教室を通じ、指導を受けた選手の競技力や管内の指導者の指導力アップにつながった。課題は宿泊料金や宿泊先までの交通手段や洗

が、患者数の推移を注視しながら院内に埋もれている経営課題解決を図り、利用者の満足度を高め、経営向上につなごうとする。次期経営計画の中で、留萌の2次医療圏域で市立病院が担うべき医療に對しての必要な病床機能を検討したい。

村山ゆかり 議員 (萌芽クラブ)

問一 学力とコホート研究

全国学力・学習状況調査による学力向上策として、9年間を見通した小中学校連携策をどうするか。市長の教育政策大綱にかける想いを伺いたい。コホート研究は「健康増進は幼少期から」をキャッチコピーに政策を考えることはできないか。

答一 小中連携事業の目標を全教職員と共有し、PDCAサイクルの確立を図り、学力や体力、知力の向上に取り組みたい。教育の政治的中立性などに配慮しながら総合教育会議などで情報を共有し、子どもたちが夢と希望を持てる環境を創りあげたい。

テーマを広く検討し、幼少期からの健康づくりには有意義と考える。

問二 市立病院経営の安定化

留萌市立病院改革プラン最終年。平成26年度の単年度赤字の要因と経営見込みを聞きたい。自宅退院・施設入所などに向けた計画と支援を行う病床をどのようにお考えか。



▲経営の安定化を目指す市立病院

※9月9日の土田議員の一般質問において、一括質問の中で、会議規則第59条に抵触する発言があったため、議会運営委員会の意見も伺い、地方自治法第129条第1項の規定により、議長において発言の取り消しを命じ、議長職権により、後刻、会議録調整の上、当該発言を削除する。

【議長発言】土田議員の質問の中で一般質問になじまない部分が多々あった。一般質問は当該地方公共団体の一般事務である自治事務および法定委託事務であり、その事務の執行状況、将来の方針さらに行政に對する批判等が対象となる。不祥事に直接に関わるものは一般質問になじまないため、会議規則第59条により議会運営委員会で処理し、会議録を精査する。



▲老朽化が進み早急な建て替えの検討が求められる市役所本庁舎

留萌消防組合議会からの報告

留萌消防組合は、消防行政に係る多岐にわたる懸念事項を取り扱うために、留萌市と小平町で組織され、留萌市から5名、小平町から3名の議員が選出され、留萌消防組合議会を形成しています。

今年度については、改選期ということもあり、5月22日に第1回臨時会を開催し、正副議長および監査委員の決定、消防緊急通信指令台および水槽付消防ポンプ自動車の取得について議決しました。

また、9月14日には、10月末の完成を予定している新しい消防庁舎の工事の進捗状況を確認するための視察を行いました。完成後は、消防救急デジタル無線整備など常備消防の要として、一層の消防活動の効率化が期待されます。留萌市民の安全・安心を守る消防の議会として、今後の定例会においては一般質問も予定しています。

留萌消防組合議会の留萌市の選出議員は次のとおりです。

- 議長 野 呂 照 幸 議員
- 監査 坂 本 茂 議員
- 澤 井 篤 司 議員
- 米 倉 靖 夫 議員
- 小 野 敏 雄 議員



▲完成を間近にした新しい消防庁舎の工事の進捗状況を確認

留萌南部衛生組合議会からの報告

留萌南部衛生組合議会（留萌市・増毛町・小平町）平成27年第4回協議会を7月28日開催し、最終処分場（増毛町）、資源化施設（留萌市）、有害鳥獣焼却施設および生ごみ施設（小平町）を視察、協議しました。

かねてより注視していた最終処分施設の埋立方法、浸出水処理施設の現状と今後の課題について確認し、小平町にある生ごみ処理施設では、異臭・悪臭について維持管理業者と組合からの説明を聞き、おがくずなどが足りているのか、また、スクリー羽根破損後の処理と現状について把握しました。

平成27年第2回定例会を8月31日に開催し、平成26年度留萌南部衛生組合会計歳入歳出決算の認定について、平成27年度補正予算について、北海道総合事務組合規約の変更についてなどを審議し、提案のとおり可決しました。

留萌南部衛生組合議会は留萌市から4人、増毛町と小平町から各3人の議員がそれぞれ選出されています。

留萌市の選出議員は次のとおりです。

- 議長 村 山 ゆかり 議員
- 笠 原 昌 史 議員
- 鵜 城 雪 子 議員
- 戸 水 美保子 議員



▲最終処分場（増毛町） ▲最終処分場で説明を受ける組合議員

編集後記

「開かれた議会」とは、それは市民が知りたい「市議会は何をやっているのだろうか」と思っている。それに答えていくことこそが議会からの発信であり、その一翼を担うのが市議会だ。決して市民が行政・市議会に無関心ではなく市民に提供される市政に関する情報・判断材料が少なすぎる。留萌のために施策なのか、その施策形成経過が知りたい。議会において、どのような議論が交わされ賛否に至ったのかが重要だと思える。情報氾濫の時代にあつて市政、市議会からの発信は不足している。限られたスペースの本誌が市民にとって有効な情報源となるべく鋭意しなければと思う。（土）

※連載「議会あの日あの日」は、誌面の都合によりお休みさせていただきました。

こんなことが決まりました

第3回定例会 9月1日～15日

第3回定例会が15日間の会期で開催され、認定3件、報告2件、議案11件、意見書案6件などを審議しました。

【認 定】

平成26年度留萌市各会計歳入歳出決算の認定について ほか2件 …… 認 定

【報 告】

平成26年度留萌市の健全化判断比率の報告について ほか1件 …… 了

【議 案】

留萌市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について ほか9件 …… 原案可決

【意見書案】

地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書 ほか3件 …… 原案可決
 ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書
 安全保障関連2法案の慎重審議を求める意見書

決算審査特別委員会からの報告（一部抜粋）

9月10日、11日、14日の3日間、決算審査特別委員会を開きました。

総務費	村上	Q 避難所の備蓄品の配備と交換は。 A 学校などを含めてある程度の備蓄品を保管しているが、購入から時間が経過しているものは更新する計画である。
	澤井	Q 地域行政経営能力開発研修会は企業会計への改革を進めるためのものか。 A 自治体の会計制度が変わることへの理解を深めるための研修会である。
民生費	村山	Q 市内の6コミュニティセンターの修繕などの優先順位は。 A それぞれ聞き取りなどを行った上で計画的に進めている。
	坂本(茂)	Q 老人クラブと会員数の減少傾向の回避のための取り組みは。 A 高齢化は進んでいるが会員数は減少傾向にある。老人クラブ連合会と連携を図り活性化に取り組みたい。
衛生費	野呂	Q 遺族に墓地の管理を頼むことを負担に思う人が増えている。永代供養を兼ねた合同墓や供養塔の建設は。 A 他都市の状況を見ながら研究を進めていきたい。
	土田	Q 浜中町の旧ごみ処理施設からの処理水の水質検査は。 A 毎年の水質検査ではダイオキシンも含め、全て基準値をクリアしている。
農林水産業費	村山	Q 新規就農者支援事業における今後の課題や将来への展望は。 A これまで他の自治体と一緒に市での就農の誘いをして応募が厳しかったが、この制度の導入により農業実習者が増えた。今後も支援を行いたい。
	米倉	Q 放流したナマコなどの生育状況を漁業者も海中で確認するための検討は。 A 関係者と協議をしながら必要性に応じて研究をしたい。
商工費	鵜城	Q ホームページの空き店舗情報が2件のみなのはなぜか。 A 現在30数件の空き店舗を確認しているが、掲載の同意を求めても諸事情で掲載を拒否する所有者がいた。今後は委託先の中小企業相談所と相談をしていく。
	坂本(茂)	Q 観光物産PR推進事業は持続・発展のために事業者も参加することが大事では。 A 事業自体は認知されているので、今後もさまざまな業界と一緒に市と物産のPRをしたい。
土木費	鵜城	Q 三泊地区の風況・石炭粉じん調査の問題点と解決策は。 A 沖合の石炭ふ頭からの飛散より国道を走行する車輛からの飛散が多いと思われる。費用対効果も含め地域の声を交えて対策を検討していきたい。
	坂本(茂)	Q 除排雪作業時に住宅の間口に残された雪の除雪作業は、高齢化が進む市において大きな課題ではないか。 A 住民の皆さんが苦勞をしない状態に近づけるよう業者との打ち合わせや現場確認をして対応していきたい。
教育費	村山	Q 平成26年度に事故が起きたスポーツセンターの床を補修する考えは。 A 今後の使用頻度を見据えながら、12月の定例会に提出するために協議していきたい。
	戸水	Q 市内3中学校への中体連参加補助金の配分方法は。 A 事務局である港南中学校に一括して預けた後、各学校の生徒数に応じて案分され、配分されている。